

各位

株式会社池田泉州銀行  
池田泉州キャピタル株式会社

～世界中の人に健幸を～  
イノベーションファンド25による株式会社リモハブへの投資実行について

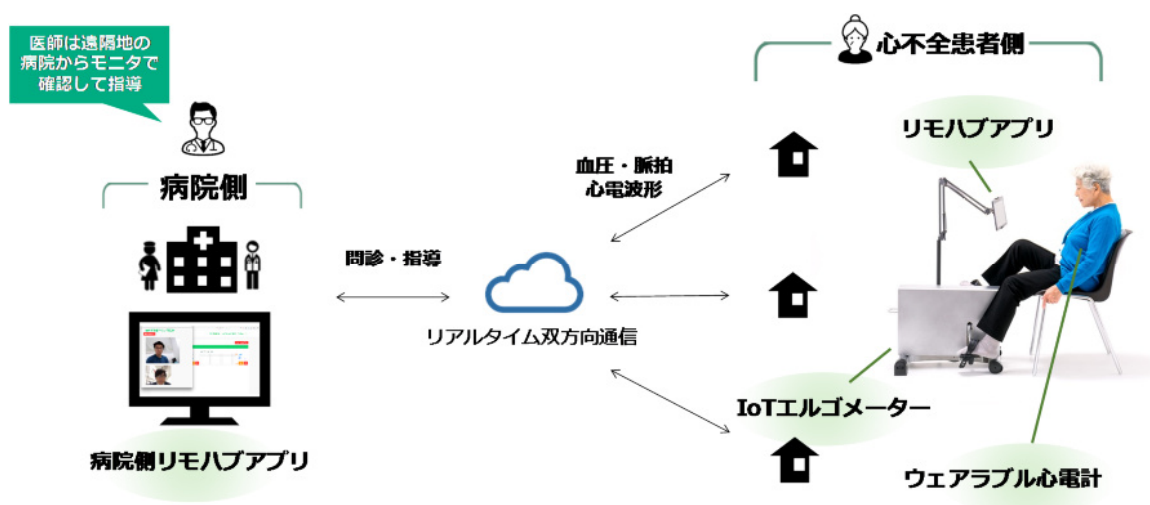
池田泉州キャピタル株式会社（代表取締役 平松 勝己）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 鶴川 淳）等が出資する「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド25）」は、2019年12月26日付で、株式会社リモハブ（所在地：大阪府吹田市、代表取締役社長 谷口 達典）に対し、投資を実行いたしましたので、お知らせいたします。

株式会社リモハブは、スタンフォード大学発の医療機器開発アントレプレナー育成プログラム「ジャパンバイオデザイン」のフェローシップ 第1期メンバーである循環器内科専門医の谷口氏が2017年に設立した大阪大学医学部発ベンチャー企業です。“世界中の人に健幸を”をミッションに掲げ、IoT技術を活用することで実施率が低い心臓リハビリテーションを在宅にて適切に実施できる遠隔システムを開発し、心疾患の予後を改善することを目指しています。

イノベーションファンド25は、地域社会における新事業の創出等産業振興に寄与し、大阪・関西の地域経済の発展や雇用の確保に繋がると期待され、2025年大阪・関西万博が目指す「SDGsが達成される社会」や「Society5.0の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象としております。

日本における死因別死亡数全体の第2位は心疾患であり、中でも最多の原因が心不全と報告されています。日本全体の心不全患者数は120万人以上と推定され、高齢者に多くみられるため、今後もさらなる増加が見込まれています。このような患者の心肺機能を改善させるため、従来は通院下での心臓リハビリテーションが行われてきました。しかし高齢であるが故に頻回の通院が難しい等の理由の為、実施できている患者さんは現状わずか1割未満に留まっています。そうした社会課題を解決するため、IoT技術を活用することで医療従事者による遠隔管理を実現し、実際に病院で行っているかのような安心で適切な心臓リハビリテーションを自宅で行うことができるシステムの開発・普及に取り組む株式会社リモハブを、イノベーションファンド25を通じて成長支援いたします。


【リモハブシステムによる「遠隔心臓リハビリテーション」の例】



<特徴>

- ① 医療機関にいる医療従事者が遠隔で在宅患者をモニタリングできる
- ② 医療機関で行う心臓リハビリテーションと同等の効果をもたらすリハビリ環境が構築できる
- ③ クラウドを介して在宅から生体データを遠隔送信し、医療機関はそれを元にした指導・管理ができる

【投資先概要】

社名	株式会社リモハブ
代表取締役社長	谷口 達典（たにぐち たつのり）
所在地	大阪府吹田市江坂町一丁目 23 番 19 号
設立	2017 年 3 月
事業内容	革新的遠隔心臓リハビリテーション用機器の企画、開発、製造、販売およびリース業
Vision	IoT 技術を活用することで実施率が低い心臓リハビリテーションを在宅にて適切に実施できる遠隔システムを開発し、社会課題である心疾患の予後を改善することを目指す
SDGs の実現	

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合 （愛称：イノベーションファンド 25）
ファンド総額	設立時 12 億円（最大募集 25 億円）
有限責任組合員(LP) （1st クローズ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 株式会社池田泉州銀行</li> <li>➤ ロート製薬株式会社</li> <li>➤ 岩谷産業株式会社</li> <li>➤ 大阪信用保証協会</li> </ul> <p style="text-align: right;">※順次、追加出資を募集</p>
無限責任組合員(GP)	➤ 池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGs が達成される社会」「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資 等
設立日	2019 年 9 月 20 日
存続期間	10 年（最大 2 年まで延長可）